

(19) 日本国特許庁(JP)

## (12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第4925847号  
(P4925847)

(45) 発行日 平成24年5月9日(2012.5.9)

(24) 登録日 平成24年2月17日(2012.2.17)

(51) Int.Cl.	F 1
B 65 D 30/16	(2006.01)
B 65 D 30/02	(2006.01)
B 65 D 30/18	(2006.01)
B 65 D 30/20	(2006.01)
A 45 C 3/02	(2006.01)
	B 65 D 30/16
	B 65 D 30/02
	B 65 D 30/18
	F

請求項の数 3 (全 24 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2007-24766 (P2007-24766)  
 (22) 出願日 平成19年2月2日 (2007.2.2)  
 (65) 公開番号 特開2008-189348 (P2008-189348A)  
 (43) 公開日 平成20年8月21日 (2008.8.21)  
 審査請求日 平成20年7月11日 (2008.7.11)

(73) 特許権者 000115821  
 株式会社リヒトラブ  
 大阪府大阪市中央区農人橋1丁目1番22号  
 (74) 代理人 100079577  
 弁理士 岡田 全啓  
 (72) 発明者 田中 耕二  
 大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 株式会社リヒトラブ内  
 (72) 発明者 新井 裕  
 大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 株式会社リヒトラブ内  
 (72) 発明者 伊藤 清彦  
 大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 株式会社リヒトラブ内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 バッグ

## (57) 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

正面方形の硬いプラスチック板体で形成された表胴版と、  
背面方形の硬いプラスチック板体で形成された裏胴版と、  
 前記表胴版と裏胴版との間において前記表胴版及び裏胴版の第1側縁及び第2側縁と底縁とに、両長手端縁によって連設された襠部とを備え、  
 前記表胴版及び裏胴版は、

襠部材を溶着するための溶着代を備え、前記溶着代は、第1側縁、第2側縁及び底縁の内側面で、第1側縁の近傍の溶着代、第2側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代を含み、且つ、底縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挟着補強部を備え、

前記襠部は、

表胴版及び裏胴版と溶着できる軟質プラスチックシートからなる襠部材で形成され、  
 前記表胴版の第1側縁及び裏胴版の第1側縁に対応する略方形状の第1側襠部と、前記表胴版の第2側縁及び裏胴版の第2側縁に対応する略方形状の第2側襠部と、前記表胴版の底縁及び裏胴版の底縁に対応する略方形状の底襠部とを有し、

第1側襠部と底襠部との境界の近傍及び第2側襠部と底襠部との境界の近傍は、折り曲げられて、表胴版の第1側縁と、表胴版の底縁との境界の表胴版の第1角部及び裏胴版の第1側縁と、裏胴版の底縁との境界の裏胴版の第1角部に対応した、第1角襠部、並びに表胴版の第2側縁と、表胴版の底縁との境界の表胴版の第2角部及び裏胴版の第2側縁と、裏胴版の底縁との境界の裏胴版の第2角部に対応した、第2角襠部を形成され、

10

20

前記襠部は、表胴版の第1側縁及び第2側縁の長さと底縁の長さとに対応する長さを有する表側長手端縁を備えるとともに、裏胴版の第1側縁と第2側縁の長さと底縁の長さに対応する長さを有する裏側長手端縁を備え、前記第1角襠部は、

表側長手端縁及び裏側長手端縁と直交し、表胴版の第1角部と裏胴版の第1角部とを結ぶ線に対応する第1角折り目と、第1側襠部の山折り折り目から第1角折り目まで一直線状に続く第2角折り目と、底襠部の山折り折り目から第1角折り目まで一直線状に続く第3角折り目と、第1角折り目と裏側長手端縁との交点から第1側襠部の山折り折り目と第2角折り目との交点まで続く第4角折り目と、第1角折り目と裏側長手端縁との交点から底襠部の山折り折り目と第3角折り目との交点まで続く第5角折り目と、第1角折り目と表側長手端縁との交点から底襠部の山折り折り目と第3角折り目との交点まで続く第6角折り目と、第1角折り目と表側長手端縁との交点から第1側襠部の山折り折り目と第2角折り目との交点まで続く第7角折り目とを備え、

第1角折り目において、バッグの外側に向けて谷折りされ表胴版の第1角部及び裏胴版の第1角部とを結ぶ線に対応した角部を形成され、

第2角折り目を、バッグの内側に向けて山折りされる山折り折り目に連続して内側に折り曲げ、第1角折り目と第2角折り目と第4角折り目とに囲まれた第1角襠面と、第1角折り目と第2角折り目と第7角折り目とに囲まれた第2角襠面とを、密着され、

底襠部と第3角折り目と第5角折り目及び第6角折り目との交点において底襠部と第3角折り目とを90°折り曲げ、且つ第5角折り目と第6角折り目とは内側に折り曲げ、第3角折り目は、第2角折り目に密に接して折り曲げられ、

第3角折り目と第5角折り目と第1角折り目とに囲まれた第3角襠面と第5角折り目を挟んだ底襠部の第5角折り目近傍の面とを密着させるとともに、第3角折り目と第6角折り目と第1角折り目とに囲まれた第4角襠面と第6角折り目を挟んだ底襠部の第6角折り目の近傍の面とを密着され、

前記第2角襠部は、

表側長手端縁及び裏側長手端縁と直交し、表胴版の第2角部と裏胴版の第2角部とを結ぶ線に対応する第1角折り目と、第1側襠部の山折り折り目から第1角折り目まで一直線状に続く第2角折り目と、底襠部の山折り折り目から第1角折り目まで一直線状に続く第3角折り目と、第1角折り目と裏側長手端縁との交点から第2側襠部の山折り折り目と第2角折り目との交点まで続く第4角折り目と、第1角折り目と裏側長手端縁との交点から底襠部の山折り折り目と第3角折り目との交点まで続く第5角折り目と、第1角折り目と表側長手端縁との交点から底襠部の山折り折り目と第3角折り目との交点まで続く第6角折り目と、第1角折り目と表側長手端縁との交点から第1側襠部の山折り折り目と第2角折り目との交点まで続く第7角折り目とを備え、

第1角折り目において、バッグの外側に向けて谷折りされ表胴版の第2角部及び裏胴版の第2角部とを結ぶ線に対応した角部を形成され、

第2角折り目を、バッグの内側に向けて山折りされる山折り折り目に連続して内側に折り曲げ、第1角折り目と第2角折り目と第4角折り目との囲まれた第1角襠面と、第1角折り目と第2角折り目と第4角折り目とに囲まれた面とを、密着され、

底襠部と第3角折り目と第5角折り目及び第6角折り目との交点において底襠部と第3角折り目とを90°折り曲げ、且つ第5角折り目と第6角折り目とは内側に折り曲げ、第3角折り目は、第2角折り目に密に接して折り曲げられ、

第3角折り目と第5角折り目と第1角折り目とに囲まれた第3角襠面と第5角折り目を挟んだ底襠部の第5角折り目近傍の面とを密着させるとともに、第3角折り目と第6角折り目と第1角折り目とに囲まれた第4角襠面と第6角折り目を挟んだ底襠部の第6角折り目の近傍の面とを密着され、

前記襠部材は、

第1側襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代と、底襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代と、第2側襠部の表側長

10

20

30

40

50

手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代とを備え、

表側長手端縁と裏側長手端縁との間において、長手方向に連続して形成された山折り折り目と、前記山折り折り目の幅方向における両側に前記山折り折り目に沿って長手方向に連続して形成された表側谷折り折り目と裏側谷折り折り目とを形成され、前記山折り折り目と表側谷折り折り目との間と前記山折り折り目と裏側谷折り折り目との間を接着されて補強部が形成され、

長手方向に連続する、表側長手端縁の第1側縁部の表側長手端縁の近傍の溶着代、底縁部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び第2側縁部の表側長手端縁の近傍の溶着代において、表胴版の外周縁、すなわち第1側縁、第2側縁及び底縁の内側面で第1側縁の近傍の溶着代、第2側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代に溶着されて表胴版と連結され、且つ、長手方向に連続する、第1側縁部の裏側長手端縁の近傍の溶着代、底縁部の裏側長手端縁の近傍の溶着代及び第2側縁部の裏側長手端縁の近傍の溶着代において、裏胴版の外周縁、すなわち第1側縁、第2側縁及び底縁の近傍の内側面で第1側縁の近傍の溶着代、第2側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代に溶着されて、裏胴版と連結され、山折り折り目側がバッグの内側に向けて突き出るように、前記表側谷折り折り目とは反対側の表側端縁と表胴版とを連設され且つ前記裏側谷折り折り目とは反対側の裏側端縁と裏胴版とを連設されるとともに、底縁の内側面に接し合わされた底縁部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、且つ、底縁の内側面に接し合わされた底縁部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着された、

バッグ。

#### 【請求項2】

前記表胴版及び裏胴版は、硬いポリプロピレン板体であり、

前記縁部は、前記表胴版及び裏胴版の第1側縁及び第2側縁の長さと底縁の長さとに対応する長さを有する平面視長方形状の軟質オレフィンシートからなる縁部材で構成され、縁部材は、第1角縁部及び第2角縁部で折り曲げられた状態において、

底縁部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代で、表胴版の底縁の溶着代及び裏胴版の底縁の内側の溶着代と接し合わされ、且つ、表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版の挟着補強部及び裏胴版の挟着補強部を折り曲げ部及び折り曲げ部において折り曲げて接し合わされ、一緒に同時に溶着された、

請求項1に記載のバッグ。

#### 【請求項3】

表胴版及び裏胴版は、第1側縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挟着補強部と、第2側縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挟着補強部とを備え、

縁部材は、第1側縁の内側面に接し合わされた第1側縁部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、第2側縁の内側面に接し合わされた第2側縁部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、

且つ、第1側縁の内側面に接し合わされた第1側縁部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着され、第2側縁の内側面に接し合わされた第2側縁部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挟着補強部が接し合わされて溶着された、

請求項1又は2に記載のバッグ。

#### 【発明の詳細な説明】

#### 【技術分野】

#### 【0001】

この発明は、バッグに関し、特に例えばプラスチックで形成される書類かばん等のバッグに関する。

#### 【背景技術】

10

20

30

40

50

**【0002】**

従来のかばんは、例えば特開平7-2257号公報に記載されたようなものがあり、該かばんは、プラスチック片を、折線(7)に沿って折り曲げて形成する容体(1)を備え、該容体はその側面にプラスチック片の接合部(10)を有し、その接合部を押圧状態で溶着することにより接合部をフラット状に形成されたかばん類等の収容体である。

**【0003】**

【特許文献1】特開平7-2257号公報

**【発明の開示】****【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

従来のこのかばん類等の収容体は、プラスチック片で容体を形成し、その容体の接合部を押圧状態で溶着することにより接合部をフラット状に形成しているが、収容体の中に書類等を入れて収容体を携帯すると、収容体の中に入れられた書類等の重みにより、特に底面部が下方に垂れ下がり、見栄えが悪くなり、携帯もしにくくなる。

**【0005】**

それゆえに、この発明の主たる目的は、収容された物品の重みにより変形しにくいバッグを提供することである。

**【課題を解決するための手段】****【0006】**

この発明の請求項1にかかるバッグは、

正面方形の硬いプラスチック板体で形成された表胴版と、  
背面方形の硬いプラスチック板体で形成された裏胴版と、

前記表胴版と裏胴版との間ににおいて前記表胴版及び裏胴版の第1側縁及び第2側縁と底縁とに、両長手端縁によって連設された襠部とを備え、

前記表胴版及び裏胴版は、

襠部材を溶着するための溶着代を備え、前記溶着代は、第1側縁、第2側縁及び底縁の内側面で、第1側縁の近傍の溶着代、第2側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代を含み、且つ、底縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挿着補強部を備え、

前記襠部は、

表胴版及び裏胴版と溶着できる軟質プラスチックシートからなる襠部材で形成され、

前記表胴版の第1側縁及び裏胴版の第1側縁に対応する略方形状の第1側襠部と、前記表胴版の第2側縁及び裏胴版の第2側縁に対応する略方形状の第2側襠部と、前記表胴版の底縁及び裏胴版の底縁に対応する略方形状の底襠部とを有し、

第1側襠部と底襠部との境界の近傍及び第2側襠部と底襠部との境界の近傍は、折り曲げられて、表胴版の第1側縁と、表胴版の底縁との境界の表胴版の第1角部及び裏胴版の第1側縁と、裏胴版の底縁との境界の裏胴版の第1角部に対応した、第1角襠部、並びに表胴版の第2側縁と、表胴版の底縁との境界の表胴版の第2角部及び裏胴版の第2側縁と、裏胴版の底縁との境界の裏胴版の第2角部に対応した、第2角襠部を形成され、

前記襠部は、表胴版の第1側縁及び第2側縁の長さと底縁の長さとに対応する長さを有する表側長手端縁を備えるとともに、裏胴版の第1側縁と第2側縁の長さと底縁の長さに対応する長さを有する裏側長手端縁を備え、

前記第1角襠部は、

表側長手端縁及び裏側長手端縁と直交し、表胴版の第1角部と裏胴版の第1角部とを結ぶ線に対応する第1角折り目と、第1側襠部の山折り折り目から第1角折り目まで一直線状に続く第2角折り目と、底襠部の山折り折り目から第1角折り目まで一直線状に続く第3角折り目と、第1角折り目と裏側長手端縁との交点から第1側襠部の山折り折り目と第2角折り目との交点まで続く第4角折り目と、第1角折り目と裏側長手端縁との交点から底襠部の山折り折り目と第3角折り目との交点まで続く第5角折り目と、第1角折り目と表側長手端縁との交点から底襠部の山折り折り目と第3角折り目との交点まで続く第6角折り目と、第1角折り目と表側長手端縁との交点から第1側襠部の山折り折り目と第2角

10

20

30

40

50

折り目との交点まで続く第7角折り目とを備え、

第1角折り目において、バッグの外側に向けて谷折りされ表胴版の第1角部及び裏胴版の第1角部とを結ぶ線に対応した角部を形成され、

第2角折り目を、バッグの内側に向けて山折りされる山折り折り目に連続して内側に折り曲げ、第1角折り目と第2角折り目と第4角折り目とに囲まれた第1角襠面と、第1角折り目と第2角折り目と第7角折り目とに囲まれた第2角襠面とを、密着され、

底襠部と第3角折り目と第5角折り目及び第6角折り目との交点において底襠部と第3角折り目とを90°折り曲げ、且つ第5角折り目と第6角折り目とは内側に折り曲げ、第3角折り目は、第2角折り目に密に接して折り曲げられ、

第3角折り目と第5角折り目と第1角折り目とに囲まれた第3角襠面と第5角折り目を挟んだ底襠部の第5角折り目近傍の面とを密着させるとともに、第3角折り目と第6角折り目と第1角折り目とに囲まれた第4角襠面と第6角折り目を挟んだ底襠部の第6角折り目の近傍の面とを密着され、 10

前記第2角襠部は、

表側長手端縁及び裏側長手端縁と直交し、表胴版の第2角部と裏胴版の第2角部とを結ぶ線に対応する第1角折り目と、第1側襠部の山折り折り目から第1角折り目まで一直線状に続く第2角折り目と、底襠部の山折り折り目から第1角折り目まで一直線状に続く第3角折り目と、第1角折り目と裏側長手端縁との交点から第2側襠部の山折り折り目と第2角折り目との交点まで続く第4角折り目と、第1角折り目と裏側長手端縁との交点から底襠部の山折り折り目と第3角折り目との交点まで続く第5角折り目と、第1角折り目と表側長手端縁との交点から底襠部の山折り折り目と第3角折り目との交点まで続く第6角折り目と、第1角折り目と表側長手端縁との交点から第1側襠部の山折り折り目と第2角折り目との交点まで続く第7角折り目とを備え、 20

第1角折り目において、バッグの外側に向けて谷折りされ表胴版の第2角部及び裏胴版の第2角部とを結ぶ線に対応した角部を形成され、

第2角折り目を、バッグの内側に向けて山折りされる山折り折り目に連続して内側に折り曲げ、第1角折り目と第2角折り目と第4角折り目との囲まれた第1角襠面と、第1角折り目と第2角折り目と第4角折り目とに囲まれた面とを、密着され、

底襠部と第3角折り目と第5角折り目及び第6角折り目との交点において底襠部と第3角折り目とを90°折り曲げ、且つ第5角折り目と第6角折り目とは内側に折り曲げ、第3角折り目は、第2角折り目に密に接して折り曲げられ、 30

第3角折り目と第5角折り目と第1角折り目とに囲まれた第3角襠面と第5角折り目を挟んだ底襠部の第5角折り目近傍の面とを密着させるとともに、第3角折り目と第6角折り目と第1角折り目とに囲まれた第4角襠面と第6角折り目を挟んだ底襠部の第6角折り目の近傍の面とを密着され、

前記襠部材は、

第1側襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代と、底襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代と、第2側襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代とを備え、

表側長手端縁と裏側長手端縁との間ににおいて、長手方向に連続して形成された山折り折り目と、前記山折り折り目の幅方向における両側に前記山折り折り目に沿って長手方向に連続して形成された表側谷折り折り目と裏側谷折り折り目とを形成され、前記山折り折り目と表側谷折り折り目との間と前記山折り折り目と裏側谷折り折り目との間を接着されて補強部が形成され、 40

長手方向に連続する、表側長手端縁の第1側襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代、底襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び第2側襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代において、表胴版の外周縁、すなわち第1側縁、第2側縁及び底縁の内側面で第1側縁の近傍の溶着代、第2側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代に溶着されて表胴版と連結され、且つ、長手方向に連続する、第1側襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代、底襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代及び第2側襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代において、裏胴版の外 50

周縁、すなわち第1側縁、第2側縁及び底縁の近傍の内側面で第1側縁の近傍の溶着代、第2側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代に溶着されて、裏胴版と連結され、山折り折り目側がバッグの内側に向けて突き出るように、前記表側谷折り折り目とは反対側の表側端縁と表胴版とを連設され且つ前記裏側谷折り折り目とは反対側の裏側端縁と裏胴版とを連設されるとともに、底縁の内側面に接し合わされた底襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挿着補強部が接し合わされて溶着され、且つ、底縁の内側面に接し合わされた底襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挿着補強部が接し合わされて溶着されている。

この発明の請求項2にかかるバッグは、前記表胴版及び裏胴版は、硬いポリプロピレン板体であり、前記襠部は、前記表胴版及び裏胴版の第1側縁及び第2側縁の長さと底縁の長さとに対応する長さを有する平面視長方形形状の軟質オレフィンシートからなる襠部材で構成され、襠部材は、第1角襠部及び第2角襠部で折り曲げられた状態において、底襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代で、表胴版の底縁の溶着代及び裏胴版の底縁の内側の溶着代と接し合わされ、且つ、表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版の挿着補強部及び裏胴版の挿着補強部を折り曲げ部及び折り曲げ部において折り曲げて接し合わされ、一緒に同時に溶着された、請求項1に記載のバッグである。10

この発明の請求項3にかかるバッグは、表胴版及び裏胴版は、第1側縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挿着補強部と、第2側縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挿着補強部とを備え、襠部材は、第1側縁の内側面に接し合わされた第1側襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挿着補強部が接し合わされて溶着され、第2側縁の内側面に接し合わされた第2側襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挿着補強部が接し合わされて溶着され、且つ、第1側縁の内側面に接し合わされた第1側襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挿着補強部が接し合わされて溶着され、第2側縁の内側面に接し合わされた第2側襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挿着補強部が接し合わされて溶着された、請求項1又は2に記載のバッグである。20

#### 【発明の効果】

#### 【0007】

この発明によれば、正面方形の硬いプラスチック板体で形成された表胴版と、背面方形の硬いプラスチック板体で形成された裏胴版と、前記表胴版と裏胴版との間において前記表胴版及び裏胴版の第1側縁及び第2側縁と底縁とに、両長手端縁によって連設された襠部とを備え、前記表胴版及び裏胴版は、襠部材を溶着するための溶着代を備え、前記溶着代は、第1側縁、第2側縁及び底縁の内側面で、第1側縁の近傍の溶着代、第2側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代を含み、且つ、底縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挿着補強部を備え、前記襠部は、表胴版及び裏胴版と溶着できる軟質プラスチックシートからなる襠部材で形成され、前記表胴版の第1側縁及び裏胴版の第1側縁に対応する略方形形状の第1側襠部と、前記表胴版の第2側縁及び裏胴版の第2側縁に対応する略方形形状の第2側襠部と、前記表胴版の底縁及び裏胴版の底縁に対応する略方形形状の底襠部とを有し、第1側襠部と底襠部との境界の近傍及び第2側襠部と底襠部との境界の近傍は、折り曲げられて、表胴版の第1側縁と、表胴版の底縁との境界の表胴版の第1角部及び裏胴版の第1側縁と、裏胴版の底縁との境界の裏胴版の第1角部に対応した、第1角襠部、並びに表胴版の第2側縁と、表胴版の底縁との境界の表胴版の第2角部及び裏胴版の第2側縁と、裏胴版の底縁との境界の裏胴版の第2角部に対応した、第2角襠部を形成され、前記襠部は、表胴版の第1側縁及び第2側縁の長さと底縁の長さとに対応する長さを有する表側長手端縁を備えるとともに、裏胴版の第1側縁と第2側縁の長さと底縁の長さに対応する長さを有する裏側長手端縁を備え、前記第1角襠部は、表側長手端縁及び裏側長手端縁と直交し、表胴版の第1角部と裏胴版の第1角部とを結ぶ線に対応する第1角折り目と、第1側襠部の山折り折り目から第1角折り目まで一直線状に続く第2角折り目と、底襠4050

部の山折り折り目から第1角折り目まで一直線状に続く第3角折り目と、第1角折り目と裏側長手端縁との交点から第1側襠部の山折り折り目と第2角折り目との交点まで続く第4角折り目と、第1角折り目と裏側長手端縁との交点から底襠部の山折り折り目と第3角折り目との交点まで続く第5角折り目と、第1角折り目と表側長手端縁との交点から底襠部の山折り折り目と第3角折り目との交点まで続く第6角折り目と、第1角折り目と表側長手端縁との交点から第1側襠部の山折り折り目と第2角折り目との交点まで続く第7角折り目とを備え、第1角折り目において、バッグの外側に向けて谷折りされ表胴版の第1角部及び裏胴版の第1角部とを結ぶ線に対応した角部を形成され、第2角折り目を、バッグの内側に向けて山折りされる山折り折り目に連続して内側に折り曲げ、第1角折り目と第2角折り目と第4角折り目とに囲まれた第1角襠面と、第1角折り目と第2角折り目と第7角折り目とに囲まれた第2角襠面とを、密着され、底襠部と第3角折り目と第5角折り目及び第6角折り目との交点において底襠部と第3角折り目とを90°折り曲げ、且つ第5角折り目と第6角折り目とは内側に折り曲げ、第3角折り目は、第2角折り目に密に接して折り曲げられ、第3角折り目と第5角折り目と第1角折り目とに囲まれた第3角襠面と第5角折り目を挟んだ底襠部の第5角折り目近傍の面とを密着させるとともに、第3角折り目と第6角折り目と第1角折り目とに囲まれた第4角襠面と第6角折り目を挟んだ底襠部の第6角折り目近傍の面とを密着され、前記第2角襠部は、表側長手端縁及び裏側長手端縁と直交し、表胴版の第2角部と裏胴版の第2角部とを結ぶ線に対応する第1角折り目と、第1側襠部の山折り折り目から第1角折り目まで一直線状に続く第2角折り目と、底襠部の山折り折り目から第1角折り目まで一直線状に続く第3角折り目と、第1角折り目と裏側長手端縁との交点から第2側襠部の山折り折り目と第2角折り目との交点まで続く第4角折り目と、第1角折り目と裏側長手端縁との交点から底襠部の山折り折り目と第3角折り目との交点まで続く第5角折り目と、第1角折り目と表側長手端縁との交点から底襠部の山折り折り目と第3角折り目との交点まで続く第6角折り目と、第1角折り目と表側長手端縁との交点から第1側襠部の山折り折り目と第2角折り目との交点まで続く第7角折り目とを備え、第1角折り目において、バッグの外側に向けて谷折りされ表胴版の第2角部及び裏胴版の第2角部とを結ぶ線に対応した角部を形成され、第2角折り目を、バッグの内側に向けて山折りされる山折り折り目に連続して内側に折り曲げ、第1角折り目と第2角折り目と第4角折り目とに囲まれた面とを、密着され、底襠部と第3角折り目と第5角折り目及び第6角折り目との交点において底襠部と第3角折り目とを90°折り曲げ、且つ第5角折り目と第6角折り目とは内側に折り曲げ、第3角折り目は、第2角折り目に密に接して折り曲げられ、第3角折り目と第5角折り目と第1角折り目とに囲まれた第3角襠面と第5角折り目を挟んだ底襠部の第5角折り目近傍の面とを密着させるとともに、第3角折り目と第6角折り目と第1角折り目とに囲まれた第4角襠面と第6角折り目を挟んだ底襠部の第6角折り目近傍の面とを密着され、前記襠部材は、第1側襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代と、底襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代と、第2側襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代とを備え、表側長手端縁と裏側長手端縁との間ににおいて、長手方向に連続して形成された山折り折り目と、前記山折り折り目の幅方向における両側に前記山折り折り目に沿って長手方向に連続して形成された表側谷折り折り目と裏側谷折り折り目とを形成され、前記山折り折り目と表側谷折り折り目との間と前記山折り折り目と裏側谷折り折り目との間を接着されて補強部が形成され、長手方向に連続する、表側長手端縁の第1側襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代、底襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び第2側襠部の表側長手端縁の近傍の溶着代において、表胴版の外周縁、すなわち第1側縁、第2側縁及び底縁の内側面で第1側縁の近傍の溶着代、第2側縁の近傍の溶着代、底縁の近傍の溶着代に溶着されて表胴版と連結され、且つ、長手方向に連続する、第1側襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代、底襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代及び第2側襠部の裏側長手端縁の近傍の溶着代において、裏胴版の外周縁、すなわち第1側縁、第2側縁及び底縁の近傍の内側面で第1側縁の近傍の溶着代、第2側縁の近傍の溶着代、底縁の

10

20

30

40

50

近傍の溶着代に溶着されて、裏胴版と連結され、山折り折り目側がバッグの内側に向けて突き出るように、前記表側谷折り折り目とは反対側の表側端縁と表胴版とを連設され且つ前記裏側谷折り折り目とは反対側の裏側端縁と裏胴版とを連設されるとともに、底縁の内側面に接し合わされた底縫部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挿着補強部が接し合わされて溶着され、且つ、底縁の内側面に接し合わされた底縫部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挿着補強部が接し合わされて溶着されているので、縫部及び胴版が補強されて変形しにくく、耐久性に優れたバッグを得ることができる。

請求項 2 の発明によれば、前記表胴版及び裏胴版は、硬いポリプロピレン板体であり、前記縫部は、前記表胴版及び裏胴版の第 1 側縁及び第 2 側縁の長さと底縁の長さとに対応する長さを有する平面視長方形形状の軟質オレフィンシートからなる縫部材で構成され、縫部材は、第 1 角縫部及び第 2 角縫部で折り曲げられた状態において、底縫部の表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代で、表胴版の底縁の溶着代及び裏胴版の底縁の内側の溶着代と接し合わされ、且つ、表側長手端縁の近傍の溶着代及び裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版の挿着補強部及び裏胴版の挿着補強部を折り曲げ部及び折り曲げ部において折り曲げて接し合わされ、一緒に同時に溶着されているので、縫部及び胴版部が補強されてその中に収容された物品等の重みにより変形することができない。10

請求項 3 の発明によれば、表胴版及び裏胴版は、第 1 側縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挿着補強部と、第 2 側縁の外側に折り曲げ部を介して連設された挿着補強部とを備え、縫部材は、第 1 側縁の内側面に接し合わされた第 1 角縫部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挿着補強部が接し合わされて溶着され、第 2 側縁の内側面に接し合わされた第 2 角縫部の表側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挿着補強部が接し合わされて溶着され、且つ、第 1 側縁の内側面に接し合わされた第 1 角縫部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挿着補強部が接し合わされて溶着され、第 2 側縁の内側面に接し合わされた第 2 角縫部の裏側長手端縁の近傍の溶着代の内側面に、折り曲げ部において折り曲げられた挿着補強部が接し合わされて溶着されているので、縫部材の底縫部及び第 1 角縫部と第 2 角縫部とが補強され、収容された物品の重みにより変形する少ない。20

#### 【0008】

この発明の上述の目的、その他の目的、特徴および利点は、図面を参照して行う以下の発明の実施の形態の詳細な説明から一層明らかとなろう。

この発明の説明において、バッグの正面側を表といい、背面側を裏といふことがあり、正面から見て左側を左、右側を右ということがあり、収容部内を内、収容部外を外ということがある。

#### 【発明を実施するための最良の形態】

#### 【0009】

図 1 は、この発明にかかる一実施の形態であるバッグを示す斜視図解図であり、図 2 は、図 1 図示バッグの掩蓋部を開いた状態を示す斜視図解図である。図 3 は、図 1 図示バッグの横断面図解図であり、図 4 は、図 1 図示バッグの要部の縦断面図解図である。図 5 は、図 1 に示すバッグに用いられる縫部材を示す展開図である。図 6 は、図 1 に示すバッグの縫部を作る工程を示す横断面図解図であり、図 7 は、図 1 に示すバッグの縫部を作る工程を示す横断面図解図である。図 8 は、図 1 に示すバッグの縫部を作る工程を示す斜視図解図であり、図 9 は、図 1 に示すバッグの縫部を作る工程を示す斜視図解図である。40

#### 【0010】

このバッグ 10 は、例えばポリプロピレン等のポリオレフィン樹脂、塩化ビニール等の合成樹脂からなり、正面方形の表胴版 12 と、前記表胴版 12 と同一形状の背面方形の裏胴版 14 と、前記表胴版 12 と裏胴版 14 との間に於いて前記表胴版 12 及び裏胴版 14 の外周縁に沿って連設された縫部 16 とを備える。50

前記襠部16が連設されていない表胴版12及び裏胴版14の上端縁は、開口された開口部18と、前記裏胴版14より連設された開口部18を覆う掩蓋部20とを備え、表胴版12と裏胴版14と襠部16とに囲繞された空間に開口部18に続く収容部が形成される。

#### 【0011】

前記表胴版12及び裏胴版14は、比較的硬い正面視方形状板体で両者が略々同一形状・同一素材であり、襠部16と溶着できるポリプロピレン等の合成樹脂シートからなる。

表胴版12は、バッグの正面から見て、左側の第1側縁30と右側の第2側縁32と底縁34とを備える。

又、裏胴版14は、バッグの正面から見て、左側の第1側縁40と右側の第2側縁42と底縁44とを備える。 10

#### 【0012】

襠部16は、表胴版12の第1側縁30及び第2側縁32の長さと底縁34の長さに対応する長さを有する表側長手端縁52を備えるとともに、裏胴版14の第1側縁40と第2側縁42の長さと底縁44の長さに対応する長さを有する裏側長手端縁54を備える、表胴版12及び裏胴版14と溶着できる平面視長方形状のポリオレフィン等の軟質プラスチックシートからなる襠部材50で形成されている。

#### 【0013】

前記襠部16は、前記表胴版12と裏胴版14との間において、前記表胴版12の第1側縁30及び第2側縁32と底縁34と、裏胴版14の第1側縁40及び第2側縁42と底縁44とに、表側長手端縁52及び裏側長手端縁54によって連設され、表側長手端縁52の内側面及び裏側長手端縁54の内側面には、その溶着代に対応した補強材22が溶着され、且つ表側長手端縁52と裏側長手端縁54との間の略中央において、その長手方向に連續しバッグの内側に向けて突き出る補強部24を備える。 20

襠部16は、前記表胴版12の第1側縁30及び裏胴版14の第1側縁40に対応する略方形状の第1側襠部62と、前記表胴版12の第2側縁32及び裏胴版14の第2側縁42に対応する略方形状の第2側襠部66と、前記表胴版12の底縁34及び裏胴版14の底縁44に対応する略方形状の底襠部64とを有する。

#### 【0014】

前記襠部材50は、表側長手端縁52と裏側長手端縁54との間において、表側長手端縁52と裏側長手端縁54とに平行に長手方向に連續して形成された山折り折り目56と、前記山折り折り目56の幅方向における両側に前記山折り折り目56に沿って平行で長手方向に連續して形成された表側谷折り折り目58と裏側谷折り折り目60とを形成され、前記山折り折り目56と表側谷折り折り目58との間と前記山折り折り目56と裏側谷折り折り目60との間を接着されて補強部24が形成されるとともに、補強部24の山折り折り目56側がバッグの内側に向けて突き出るよう前記表側谷折り折り目58とは反対側の表側長手端縁52の内側面と表胴版12とが連設され、且つ前記裏側谷折り折り目60とは反対側の裏側長手端縁54の内側面と裏胴版14とが連設されている。 30

#### 【0015】

前記襠部材50は、平面視略長方形状の熱可塑性軟質プラスチックシートからなり、前記表胴版12及び裏胴版14は、比較的硬い熱可塑性プラスチック板体であり、熱融着性を有する。 40

襠部材50は、第1側襠部62の表側長手端縁52の近傍の略台形状の溶着代110及び裏側長手端縁54の近傍の略台形状の溶着代112と、底襠部64の表側長手端縁52の近傍の略台形状の溶着代114及び裏側長手端縁54の近傍の略台形状の溶着代116と、第2側襠部66の表側長手端縁52の近傍の略台形状の溶着代118及び裏側長手端縁54の近傍の略台形状の溶着代120とを備える。

前記襠部材50は、長手方向に連續する、表側長手端縁52の第1側襠部62の表側長手端縁52の近傍の溶着代110、底襠部64の表側長手端縁52の近傍の溶着代114及び第2側襠部66の表側長手端縁52の近傍の溶着代118において、表胴版12の外 50

周縁、すなわち第1側縁30、第2側縁32及び底縁34の内側で第1側縁30の近傍の溶着代30a、第2側縁32の近傍の溶着代32a、底縁34の近傍の溶着代34aに溶着されて表胴版12と連結されている(図10参照)。

そして、長手方向に連続する、第1側縁部62の裏側長手端縁54の近傍の溶着代112、底縁部64の裏側長手端縁54の近傍の溶着代116及び第2側縁部66の裏側長手端縁54の近傍の溶着代120において、裏胴版14の外周縁、すなわち第1側縁40、第2側縁42及び底縁44の近傍の内側で第1側縁40の近傍の溶着代40a、第2側縁42の近傍の溶着代42a、底縁44の近傍の溶着代44aに溶着されて、裏胴版14と連設される。

第1側縁40の近傍の溶着代40a、第2側縁42の近傍の溶着代42a、底縁44の近傍の溶着代44aは、表胴版12の溶着代30a、32a、34aと同様に形成され、第2側縁42の近傍の溶着代42aは、第1側縁40の近傍の溶着代40aと同様に形成されている。 10

#### 【0016】

前記縫部材50は、前記山折り折り目56と表側谷折り折り目58との間と、前記山折り折り目56と裏側谷折り折り目60との間とが、へり返しされ表側谷折り折り目58と裏側谷折り折り目60を揃えて突き合わされ左側の第1側縁部62と底縁部64との境界の近傍及び右側の第2側縁部66と底縁部64との境界の近傍を除いて溶着されて、補強部24が形成されている。そして、第1側縁部62と底縁部64との境界の近傍及び第2側縁部66と底縁部64との境界の近傍は、折り曲げられて、表胴版12及び裏胴版14の第1側縁30及び第1側縁40と底縁34及び底縁44との境界の第1角部36及び第1角部46に対応した、第1角縫部70、並びに第2側縁32及び第2側縁42と底縁34及び底縁44との境界の第2角部38及び第2角部48に対応した、第2角縫部90を形成している。 20

#### 【0017】

第1角縫部70は、表側長手端縁52及び裏側長手端縁54と直交し、表胴版12の第1角部36と裏胴版14の第1角部46とを結ぶ線に対応する第1角折り目72と、第1側縫部62の山折り折り目56から第1角折り目72まで一直線状に続く第2角折り目74と、底縫部64の山折り折り目56から第1角折り目72まで一直線状に続く第3角折り目76と、第1角折り目72と裏側長手端縁54との交点から第1側縫部62の山折り折り目56と第2角折り目74との交点まで続く第4角折り目78と、第1角折り目72と裏側長手端縁54との交点から底縫部64の山折り折り目56と第3角折り目76との交点まで続く第5角折り目80と、第1角折り目72と表側長手端縁52との交点から底縫部64の山折り折り目56と第3角折り目76との交点まで続く第6角折り目82と、第1角折り目72と表側長手端縁52との交点から第1側縫部62の山折り折り目56と第2角折り目74との交点まで続く第7角折り目84とを備える。 30

第4角折り目78と第5角折り目80と第2角折り目74及び第3角折り目76により二等辺三角形を形成し、第6角折り目82と第7角折り目84と第2角折り目74及び第3角折り目76により二等辺三角形を形成する。

#### 【0018】

第2角縫部90は、表側長手端縁52及び裏側長手端縁54と直交し、表胴版12の第2角部38と裏胴版14の第2角部48とを結ぶ線に対応する第1角折り目92と、第1側縫部66の山折り折り目56から第1角折り目92まで一直線状に続く第2角折り目94と、底縫部64の山折り折り目56から第1角折り目92まで一直線状に続く第3角折り目96と、第1角折り目92と裏側長手端縁54との交点から第2側縫部66の山折り折り目56と第2角折り目94との交点まで続く第4角折り目98と、第1角折り目92と裏側長手端縁54との交点から底縫部64の山折り折り目56と第3角折り目96との交点まで続く第5角折り目100と、第1角折り目92と表側長手端縁52との交点から底縫部64の山折り折り目56と第3角折り目96との交点まで続く第6角折り目102と、第1角折り目92と表側長手端縁52との交点から第1側縫部66の山折り折り目5 40

6と第2角折り目94との交点まで続く第7角折り目104とを備える。

第4角折り目98と第5角折り目100と第2角折り目94及び第3角折り目96により二等辺三角形を形成し、第6角折り目102と第7角折り目104と第2角折り目94及び第3角折り目96により二等辺三角形を形成する。

#### 【0019】

第1角折り目72, 第2角折り目74, 第3角折り目76, 第4角折り目78, 第5角折り目80, 第6角折り目82及び第7角折り目84は、直線状で、第4角折り目78と第5角折り目80と第6角折り目82と第7角折り目84とによって平面視正方形を構成し、第1角折り目72と第2角折り目74及び第3角折り目76とは、前記正方形の対角線を構成する。

10

#### 【0020】

第1角折り目92, 第2角折り目94, 第3角折り目96, 第4角折り目98, 第5角折り目100, 第6角折り目102及び第7角折り目104は、直線状で、第4角折り目98と第5角折り目100と第6角折り目102と第7角折り目104とによって平面視正方形を構成し、第1角折り目92と第2角折り目94及び第3角折り目96とは、前記正方形の対角線を構成する。

#### 【0021】

第2角折り目74は、バッグの内側に向けて山折りされる山折り折り目56に連続して内側に折れ曲がり、第1角折り目72と第2角折り目74と第4角折り目78とに囲まれた略二等辺三角形状の第1角縫面70aと、第1角折り目72と第2角折り目74と第7角折り目84とに囲まれた略二等辺三角形状の第2角縫面70bとは、密着する。第1角縫面70aと第2角縫面70bとは、第2角折り目74を中心とした線対称形である。

20

そして、底縫部64と第3角折り目76と第5角折り目80及び第6角折り目82との交点において底縫部64と第3角折り目76とが90°折れ曲がり、且つ第5角折り目80と第6角折り目82とは内側に折れ曲がり、第3角折り目76は、第2角折り目74に密に接して折れ曲がる。

そして、第3角折り目76と第5角折り目80と第1角折り目72とに囲まれた略二等辺三角形状の第3角縫面70cと第5角折り目80を挟んだ底縫部64の第5角折り目80近傍の面とが密着するとともに、第3角折り目76と第6角折り目82と第1角折り目72とに囲まれた略二等辺三角形状の第4角縫面70dと第6角折り目82を挟んだ底縫部64の第6角折り目82の近傍の面とが密着する。第3角縫面70cと第2角縫面70bとは、第3角折り目76を中心とした線対称形である。

30

角縫部70は、以上のように形成される。

#### 【0022】

第1角折り目92は、バッグの外側に向けて谷折りされて表胴版12の第2角部38及び裏胴版14の第2角部48とを結ぶ線に対応した角部を形成する。

第2角折り目94は、バッグの内側に向けて山折りされる山折り折り目56に連続して内側に折れ曲がり、第1角折り目92と第2角折り目94と第4角折り目98との囲まれた略二等辺三角形状の第1角縫面90aと、第1角折り目92と第2角折り目94と第4角折り目104とに囲まれた略二等辺三角形状の第2角縫面90bとは、密着する。第1角縫面90aと第2角縫面90bとは、第2角折り目94を中心とした線対称形である。

40

そして、底縫部64と第3角折り目96と第5角折り目100及び第6角折り目102との交点において底縫部64と第3角折り目96とが90°折れ曲がり、且つ第5角折り目100と第6角折り目102とは内側に折れ曲がり、第3角折り目96は、第2角折り目94に密に接して折れ曲がる。

そして、第3角折り目96と第5角折り目100と第1角折り目92とに囲まれた略二等辺三角形状の第3角縫面90cと第5角折り目100を挟んだ底縫部64の第5角折り目100近傍の面とが密着するとともに、第3角折り目96と第6角折り目102と第1角折り目92とに囲まれた略二等辺三角形状の第4角縫面90dと第6角折り目102を挟んだ底縫部64の第6角折り目102の近傍の面とが密着する。第3角縫面90cと第

50

4角縫面90dとは、第3角折り目96を中心とした線対称形である。

角縫部90は、以上のように形成される。

### 【0023】

次に、この発明にかかるバッグの製造方法について、主として図5ないし図10に基づいて説明する。

### 【0024】

まず、縫部材50をもって縫部16を形成する方法について説明する。

第1角折り目72において、バッグの外側に向けて谷折りし表胴版12の第1角部36及び裏胴版14の第1角部46とを結ぶ線に対応した角部を形成する。

第2角折り目74を、バッグの内側に向けて山折りされる山折り折り目56に連続して内側に折り曲げ、第1角折り目72と第2角折り目74と第4角折り目78とに囲まれた第1角縫面70aと、第1角折り目72と第2角折り目74と第7角折り目84とに囲まれた第2角縫面70bとを、密着する。10

そして、底縫部64と第3角折り目76と第5角折り目80及び第6角折り目82との交点において底縫部64と第3角折り目76とを90°折り曲げ、且つ第5角折り目80と第6角折り目82とは内側に折り曲げ、第3角折り目76は、第2角折り目74に密に接して折り曲げる。

そして、第3角折り目76と第5角折り目80と第1角折り目72とに囲まれた第3角縫面70cと第5角折り目80を挟んだ底縫部64の第5角折り目80近傍の面とを密着させるとともに、第3角折り目76と第6角折り目82と第1角折り目72とに囲まれた第4角縫面70dと第6角折り目82を挟んだ底縫部64の第6角折り目82の近傍の面とを密着させる。20

角縫部70は、以上のようにして形成される。

### 【0025】

第1角折り目92において、バッグの外側に向けて谷折りし表胴版12の第2角部38及び裏胴版14の第2角部48とを結ぶ線に対応した角部を形成する。

第2角折り目94を、バッグの内側に向けて山折りされる山折り折り目56に連続して内側に折り曲げ、第1角折り目92と第2角折り目94と第4角折り目98との囲まれた第1角縫面90aと、第1角折り目92と第2角折り目94と第4角折り目104とに囲まれた面とを、密着する。30

そして、底縫部64と第3角折り目96と第5角折り目100及び第6角折り目102との交点において底縫部64と第3角折り目96とを90°折り曲げ、且つ第5角折り目100と第6角折り目102とは内側に折り曲げ、第3角折り目96は、第2角折り目94に密に接して折り曲げる。

そして、第3角折り目96と第5角折り目100と第1角折り目92とに囲まれた第3角縫面90cと第5角折り目100を挟んだ底縫部64の第5角折り目100近傍の面とを密着させるとともに、第3角折り目96と第6角折り目102と第1角折り目92とに囲まれた第4角縫面90dと第6角折り目102を挟んだ底縫部64の第6角折り目102の近傍の面とを密着させる。

角縫部90は、以上のようにして形成される。40

### 【0026】

次に、縫部材50は、第1角縫部70及び第4角縫面90で折り曲げられた状態において、第1側縫部材62の表側長手端縁52の近傍の溶着代110及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代112で、表胴版12の第1側縁30及び裏胴版14の第1側縁40の内側の溶着代と接し合わせ、更に、表側長手端縁52の近傍の溶着代110及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代112の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版12及び裏胴版14と同一の素材であるポリプロピレンシートからなる長方形状の補強材22を接し合わせ、一緒に同時に溶着する。

そして、底縫部64の表側長手端縁52の近傍の溶着代114及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代116で、表胴版12の底縁34及び裏胴版14の底縁44の内側の溶着代50

と接し合わせ、更に、表側長手端縁 5 2 の近傍の溶着代 1 1 4 及び裏側長手端縁 5 4 の近傍の溶着代 1 1 6 の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版 1 2 及び裏胴版 1 4 と同一の素材であるポリプロピレンシートからなる長方形状の補強材 2 2 を接し合わせ、一緒に同時に溶着する。

更に、第 2 側襠部 6 6 の表側長手端縁 5 2 の近傍の溶着代 1 1 8 及び裏側長手端縁 5 4 の近傍の溶着代 1 2 0 で、表胴版 1 1 2 の第 2 側縁 3 2 及び裏胴版 1 4 の第 2 側縁 4 2 の内側の溶着代と接し合わせ、更に、表側長手端縁 5 2 の近傍の溶着代 1 1 8 及び裏側長手端縁 5 4 の近傍の溶着代 1 2 0 の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版 1 2 及び裏胴版 1 4 と同一の素材であるポリプロピレンシートからなる長方形状の補強材 2 2 を接し合わせ、一緒に同時に溶着する。

なお、第 1 側襠部材 6 2 の表側長手端縁 5 2 の近傍の溶着代 1 1 0 は折り畳 1 1 0 a で、裏側長手端縁 5 4 の近傍の溶着代 1 1 2 は折り畳 1 1 2 a で、底襠部 6 4 の表側長手端縁 5 2 の近傍の溶着代 1 1 4 は折り畳 1 1 4 a で、裏側長手端縁 5 4 の近傍の溶着代 1 1 6 は折り畳 1 1 6 a で、第 2 側襠部 6 6 の表側長手端縁 5 2 の近傍の溶着代 1 1 8 は折り畳 1 1 8 a で、裏側長手端縁 5 4 の近傍の溶着代 1 2 0 は折り畳 1 2 0 a で、それぞれの内側面を外側すなわち表胴版 1 2 及び裏胴版 1 4 側に向けて折り、第 1 側襠部材 6 2 の表側長手端縁 5 2 の近傍の溶着代 1 1 0 は表胴版 1 2 の第 1 側縁 3 0 の左端縁に、裏側長手端縁 5 4 の近傍の溶着代 1 1 2 は裏胴版 1 4 の第 1 側縁 4 0 の左端縁に、底襠部 6 4 の表側長手端縁 5 2 の近傍の溶着代 1 1 4 は表胴版 1 2 の底縁 3 4 の下端縁に、裏側長手端縁 5 4 の近傍の溶着代 1 1 6 は裏胴版 1 4 の底縁 4 4 の下端縁に、第 2 側襠部 6 6 の表側長手端縁 5 2 の近傍の溶着代 1 1 8 は表胴版 1 2 の第 2 側縁 3 2 の右端縁に、裏側長手端縁 5 4 の近傍の溶着代 1 2 0 は裏胴版 1 4 の第 2 側縁 4 2 の右端縁に、それぞれ略々揃えて溶着される。

#### 【 0 0 2 7 】

表胴版 1 2 及び裏胴版 1 4 の間に襠部 1 6 が形成された後又は先に、裏胴版 1 4 の上端縁近傍に掩蓋部 2 0 を溶着する。

以上のようにして、バッグ 1 0 は製造される。

#### 【 0 0 2 8 】

この発明は、前記実施の形態のバッグに限らず、この発明の思想に基づき変更することができる。

#### 【 0 0 2 9 】

図 1 1 ないし 2 0 は、前記バッグの変形例たるバッグ 2 1 0 を示している。

このバッグ 2 1 0 は、前記バッグ 1 0 とは掩蓋部 2 0 等において異なる。

図 1 1 は、図 1 図示バッグの変形例たるバッグを示す斜視図解図である。図 1 2 は、図 1 1 図示バッグの掩蓋部を開いた状態を示す斜視図解図であり、図 1 3 は、図 1 1 図示バッグの横断面図解図である。図 1 4 は、図 1 1 図示バッグの要部の縦断面図解図であり、図 1 5 は、図 1 1 に示すバッグに用いられる表胴版及び裏胴版を示す斜視図解図である。図 1 6 は、図 1 1 に示すバッグの襠部を作る工程を示す横断面図解図であり、図 1 7 は、図 1 1 に示すバッグの表胴版を分離した状態における一部を省略した斜視図解図である。

#### 【 0 0 3 0 】

このバッグ 2 1 0 は、例えばポリプロピレン等のポリオレフィン樹脂、塩化ビニール等の合成樹脂からなり、正面方形の表胴版 1 2 と、前記表胴版 1 2 と同一形状の背面方形の裏胴版 1 4 と、前記表胴版 1 2 と裏胴版 1 4 との間において前記表胴版 1 2 及び裏胴版 1 4 の外周縁に沿って連設された襠部 1 6 とを備える。

前記襠部 1 6 が連設されていない表胴版 1 2 及び裏胴版 1 4 の上端縁は、開口された開口部 1 8 と、前記裏胴版 1 4 より連設された開口部 1 8 を覆う掩蓋部 2 2 0 とを備え、表胴版 1 2 と裏胴版 1 4 と襠部 1 6 とに囲繞された空間に開口部 1 8 に続く収容部が形成される。

#### 【 0 0 3 1 】

前記表胴版 1 2 及び裏胴版 1 4 は、比較的硬い正面視方形板体で両者が略々同一形状

10

20

30

40

50

・同一素材であり、襷部16と溶着できるポリプロピレン等の合成樹脂シートからなる。  
表胴版12は、バッグの正面から見て、左側の第1側縁30と右側の第2側縁32と底縁34とを備える。

又、裏胴版14は、バッグの正面から見て、左側の第1側縁40と右側の第2側縁42と底縁44とを備える。

#### 【0032】

襷部16は、表胴版12の第1側縁30及び第2側縁32の長さと底縁34の長さに対応する長さを有する表側長手端縁52を備えるとともに、裏胴版14の第1側縁40と第2側縁42の長さと底縁44の長さに対応する長さを有する裏側長手端縁54を備える、表胴版12及び裏胴版14と溶着できる平面視長方形状のポリオレフィン等の軟質プラスチックシートからなる襷部材50で形成されている。 10

#### 【0033】

前記襷部材50は、平面視略長方形状の熱可塑性軟質プラスチックシートからなり、前記表胴版12及び裏胴版14は、比較的硬い熱可塑性プラスチック板体であり、熱融着性を有する。

襷部材50は、第1側襷部62の表側長手端縁52の近傍の溶着代110及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代112と、底襷部64の表側長手端縁52の近傍の溶着代114及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代116と、第2側襷部66の表側長手端縁52の近傍の溶着代118及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代120とを備える。 20

#### 【0034】

表胴版12及び裏胴版14は、襷部材50を溶着するための溶着代を備える。

表胴版12は、その外周縁、すなわち第1側縁30、第2側縁32及び底縁34の内側面で、第1側縁30の近傍の溶着代30a、第2側縁32の近傍の溶着代32a、底縁34の近傍の溶着代34aを備え、更に、第1側縁30の外側に折り曲げ部30bを介して連設された挿着補強部222aと、第2側縁32の外側に折り曲げ部32bを介して連設された挿着補強部222bと、底縁34の外側に折り曲げ部34bを介して連設された挿着補強部222cとを備える。

裏胴版14は、その外周縁、すなわち第1側縁40、第2側縁42及び底縁44の内側面で、第1側縁40の近傍の溶着代40a、第2側縁42の近傍の溶着代42a、底縁44の近傍の溶着代44aを備え、更に、第1側縁40の外側に折り曲げ部40bを介して連設された挿着補強部222dと、第2側縁42の外側に折り曲げ部42bを介して連設された挿着補強部222eと、底縁44の外側に折り曲げ部44bを介して連設された挿着補強部222fとを備える。 30

#### 【0035】

前記襷部材50は、長手方向に連続する、表側長手端縁52の第1側襷部62の表側長手端縁52の近傍の溶着代110、底襷部64の表側長手端縁52の近傍の溶着代114及び第2側襷部66の表側長手端縁52の近傍の溶着代118において、表胴版12の外周縁、すなわち第1側縁30、第2側縁32及び底縁34の内側面で第1側縁30の近傍の溶着代30a、第2側縁32の近傍の溶着代32a、底縁34の近傍の溶着代34aに溶着されて表胴版12と連結されている(図17参照)。 40

そして、長手方向に連続する、第1側襷部62の裏側長手端縁54の近傍の溶着代112、底襷部64の裏側長手端縁54の近傍の溶着代116及び第2側襷部66の裏側長手端縁54の近傍の溶着代120において、裏胴版14の外周縁、すなわち第1側縁40、第2側縁42及び底縁44の近傍の内側面で第1側縁40の近傍の溶着代40a、第2側縁42の近傍の溶着代42a、底縁44の近傍の溶着代44aに溶着されて、裏胴版14と連結される。

第1側縁40の近傍の溶着代40a、第2側縁42の近傍の溶着代42a、底縁44の近傍の溶着代44aは、表胴版12の溶着代30a、32a、34aと同様に形成され、第2側縁42の近傍の溶着代42aは、第1側縁40の近傍の溶着代40aと同様に形成されている。 50

## 【0036】

更に、第1側縁30の内側面に接し合わされた第1側縁部の表側長手端縁の近傍の溶着代110の内側面に、折り曲げ部30bにおいて折り曲げられた挿着補強部222aが接し合わされて溶着され、第2側縁32の内側面に接し合わされた第2側縁部の表側長手端縁の近傍の溶着代118の内側面に、折り曲げ部32bにおいて折り曲げられた挿着補強部222bが接し合わされて溶着され、底縁34の内側面に接し合わされた底縁部の表側長手端縁の近傍の溶着代114の内側面に、折り曲げ部34bにおいて折り曲げられた挿着補強部222cが接し合わされて溶着されている。

## 【0037】

更に、第1側縁40の内側面に接し合わされた第1側縁部の裏側長手端縁の近傍の溶着代112の内側面に、折り曲げ部40bにおいて折り曲げられた挿着補強部222dが接し合わされて溶着され、第2側縁42の内側面に接し合わされた第2側縁部の裏側長手端縁の近傍の溶着代120の内側面に、折り曲げ部42bにおいて折り曲げられた挿着補強部222eが接し合わされて溶着され、底縁44の内側面に接し合わされた底縁部の裏側長手端縁の近傍の溶着代116の内側面に、折り曲げ部44bにおいて折り曲げられた挿着補強部222fが接し合わされて溶着されている。

10

## 【0038】

このバッグ210の掩蓋部220は、把手部226を備えており、把手部226を堅固に取着するために、同一の形状、同一の大きさ、同一の素材からなる一つの掩蓋素材220aともう一つの掩蓋素材220bとを接し合わせ、外周縁に沿った掩蓋素材220aの溶着域220a1と掩蓋素材220bの溶着域220b1とを溶着されてなる。

20

掩蓋部220を取り付ける領域には、長方形のポリプロピレン製補強板220cを2つ折りにして重ねられた補強板220cが介装され、補強板220cの外周縁に沿った掩蓋素材220aの溶着域220a2と掩蓋素材220bの溶着域220b2及び掩蓋素材220aの溶着域220a3と掩蓋素材220bの溶着域220b3において、掩蓋素材220aと掩蓋素材220bとが幅方向に2条の線状に溶着をされて、適宜な位置に固定されている。

## 【0039】

把手部226は、可倒式のハンドルからなり、ベース226Aと、該ベース226Aに回動自在に取り付けられたハンドル部226Bとにより形成され、補強板220cが介装された領域にベース226Aを固定されて、把手部226を構成している。

30

もっとも、把手部226は前記例に限らず、図20に示すようにコの字型のハンドルを固定してもよい。

また、縁部16の底縁部64を補強するために、図11及び13に示すように、補強部24に対応した部位で折れ曲がる底縁補強体230を添装してもよい。もっとも、底縁補強体230は、断面略くの字型でもよく、又、平板状でもよい。

## 【0040】

次に、この発明にかかるバッグの製造方法について、主として図15ないし図18に基づいて説明する。

## 【0041】

40

縁部材50をもって縁部16を形成する方法については、前記図1図示バッグの製造方法と同じであるので省略する。

## 【0042】

次に、縁部材50を表胴版12及び裏胴版14に溶着する方法について説明する。

縁部材50は、第1角縁部70及び第2角縁部90bで折り曲げられた状態において、第1側縁部材62の表側長手端縁52の近傍の溶着代110及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代112で、表胴版12の第1側縁30の溶着代30a及び裏胴版14の第1側縁40の内側の溶着代40aと接し合わせ、更に、表側長手端縁52の近傍の溶着代110及び裏側長手端縁54の近傍の溶着代112の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版12の挿着補強部222a及び裏胴版14の挿着補強部222dを折り曲げ部

50

30 b 及び折り曲げ部 40 b において折り曲げて接し合わせ、一緒に同時に溶着する。

そして、底襠部 64 の表側長手端縁 52 の近傍の溶着代 114 及び裏側長手端縁 54 の近傍の溶着代 116 で、表胴版 12 の底縁 34 の溶着代 34a 及び裏胴版 14 の底縁 44 の内側の溶着代 44a と接し合わせ、更に、表側長手端縁 52 の近傍の溶着代 114 及び裏側長手端縁 54 の近傍の溶着代 116 の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版 12 の挿着補強部 222c 及び裏胴版 14 の挿着補強部 222f を折り曲げ部 34b 及び折り曲げ部 44b において折り曲げて接し合わせ、一緒に同時に溶着する。

更に、第 2 側襠部 66 の表側長手端縁 52 の近傍の溶着代 118 及び裏側長手端縁 54 の近傍の溶着代 120 で、表胴版 112 の第 2 側縁 32 の溶着代 32a 及び裏胴版 14 の第 2 側縁 42 の内側の溶着代 42a と接し合わせ、更に、表側長手端縁 52 の近傍の溶着代 118 及び裏側長手端縁 54 の近傍の溶着代 120 の内側面にそれぞれその溶着代の形状に対応した表胴版 12 の挿着補強部 222b 及び裏胴版 14 の挿着補強部 222e を折り曲げ部 32b 及び折り曲げ部 42b において折り曲げて接し合わせ、一緒に同時に溶着する。10

なお、第 1 側襠部材 62 の表側長手端縁 52 の近傍の溶着代 110 は折り畳 110a で、裏側長手端縁 54 の近傍の溶着代 112 は折り畳 112a で、底襠部 64 の表側長手端縁 52 の近傍の溶着代 114 は折り畳 114a で、裏側長手端縁 54 の近傍の溶着代 116 は折り畳 116a で、第 2 側襠部 66 の表側長手端縁 52 の近傍の溶着代 118 は折り畳 118a で、裏側長手端縁 54 の近傍の溶着代 120 は折り畳 120a で、それぞれの内側面を外側すなわち表胴版 12 及び裏胴版 14 側に向けて折り、第 1 側襠部材 62 の表側長手端縁 52 の近傍の溶着代 110 は表胴版 12 の第 1 側縁 30 の左端縁に、裏側長手端縁 54 の近傍の溶着代 112 は裏胴版 14 の第 1 側縁 40 の左端縁に、底襠部 64 の表側長手端縁 52 の近傍の溶着代 114 は表胴版 12 の底縁 34 の下端縁に、裏側長手端縁 54 の近傍の溶着代 116 は裏胴版 14 の底縁 44 の下端縁に、第 2 側襠部 66 の表側長手端縁 52 の近傍の溶着代 118 は表胴版 12 の第 2 側縁 32 の右端縁に、裏側長手端縁 54 の近傍の溶着代 120 は裏胴版 14 の第 2 側縁 42 の右端縁に、それぞれ略々揃えて溶着される。20

#### 【0043】

表胴版 12 及び裏胴版 14 の間に襠部 16 が形成された後又は先に、裏胴版 14 の上端縁近傍に掩蓋部 220 を溶着する。30

以上のようにして、バッグ 210 は製造される。

#### 【0044】

なお、第 1 角襠面 70a 及び第 2 角襠面 70b は、第 5 角折り目 80 及び第 6 角折り目 82 を折り曲げて、垂直方向にのびるようにしてもよく（図 9 及び図 17 図示）、また、第 4 角折り目 98 及び第 7 角折り目 104 を折り曲げて、水平方向にのびるようにしてもよい（図 19 図示）。

また、第 1 角襠面 90a 及び第 2 角襠面 90b は、第 5 角折り目 100 及び第 6 角折り目 102 を折り曲げて、垂直方向にのびるようにしてもよく、また、第 4 角折り目 98 及び第 7 角折り目 104 を折り曲げて、水平方向にのびるようにしてもよい。

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【0045】

【図 1】この発明にかかる一実施の形態であるバッグを示す斜視図解図である。

【図 2】図 1 図示バッグの掩蓋部を開いた状態を示す斜視図解図である。

【図 3】図 1 図示バッグの横断面図解図である。

【図 4】図 1 図示バッグの要部の縦断面図解図である。

【図 5】図 1 に示すバッグに用いられる襠部材を示す展開図である。

【図 6】図 1 に示すバッグの襠部を作る工程を示す横断面図解図である。

【図 7】図 1 に示すバッグの襠部を作る工程を示す横断面図解図である。

【図 8】図 1 に示すバッグの襠部を作る工程を示す斜視図解図である。

【図 9】図 1 に示すバッグの襠部を作る工程を示す斜視図解図である。40

【図10】図1に示すバッグの表胴版を分離した状態における一部を省略した斜視図解図である。

【図11】図1図示バッグの変形例たるバッグを示す斜視図解図である。

【図12】図11図示バッグの掩蓋部を開いた状態を示す斜視図解図である。

【図13】図11図示バッグの横断面図解図である。

【図14】図11図示バッグの要部の縦断面図解図である。

【図15】図11に示すバッグに用いられる表胴版及び裏胴版を示す斜視図解図である。

【図16】図11に示すバッグの襠部を作る工程を示す横断面図解図である。

【図17】図11に示すバッグの表胴版を分離した状態における一部を省略した斜視図解図である。

10

【図18】図11図示バッグの掩蓋部の構造を示す図解図であり、(A)は分解した状態の斜視図解図であり、(B)は作る工程を示す断面図解図である。

【図19】図11図示バッグの変形例たるバッグを示す斜視図解図である。

【図20】ハンドルの変形例を示す斜視図解図である。

【符号の説明】

【0046】

10, 210 バッグ

12 表胴版

14 裏胴版

20

16 襠部

18 開口部

20 掩蓋部

22 補強材

24 補強部

30, 40 第1側縁

32, 42 第2側縁

30a, 32a, 34a, 40a, 42a, 44a 溶着代

30b, 32b, 34b, 40b, 42b, 44b 折り曲げ部

34, 44 底縁

30

36, 46 第1角部

38, 48 第2角部

50 襠部材

52 表側長手端縁

54 裏側長手端縁

56 山折り折り目

58 表側谷折り折り目

60 裏側谷折り折り目

62 第1側襠部

64 底襠部

40

66 第2側襠部

70 第1角襠部

70a 第1角襠面

70b 第2角襠面

70c 第3角襠面

70d 第4角襠面

72 第1角折り目

74 第2角折り目

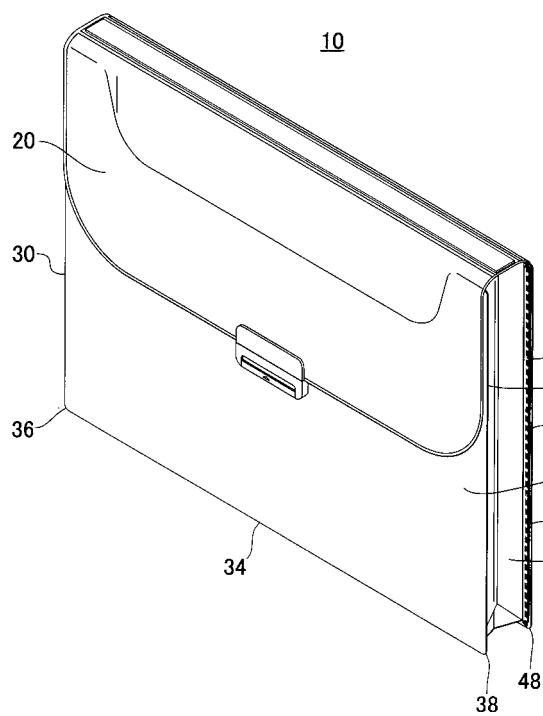
76 第3角折り目

78 第4角折り目

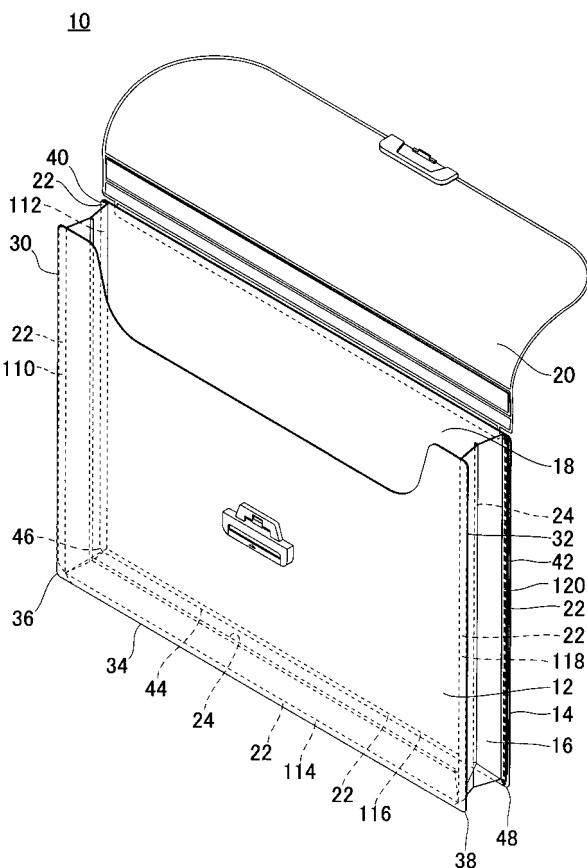
50

8 0 第5角折り目  
8 2 第6角折り目  
8 4 第7角折り目  
9 0 第2角襀部  
9 0 a 第1角襀面  
9 0 b 第2角襀面  
9 0 c 第3角襀面  
9 0 d 第4角襀面  
9 2 第1角折り目  
9 4 第2角折り目  
9 6 第3角折り目  
9 8 第4角折り目  
1 0 0 第5角折り目  
1 0 2 第6角折り目  
1 0 4 第7角折り目  
1 1 0 第1側襀部の表側長手端縁の近傍の溶着代  
1 1 2 第1側襀部の裏側長手端縁の近傍の溶着代  
1 1 4 底襀部の表側長手端縁の近傍の溶着代  
1 1 6 底襀部の裏側長手端縁の近傍の溶着代  
1 1 8 第2側襀部の表側長手端縁の近傍の溶着代  
1 2 0 第2側襀部の裏側長手端縁の近傍の溶着代  
2 2 0 掩蓋部  
2 2 0 a 掩蓋素材  
2 2 2 a , 2 2 2 b , 2 2 2 c , 2 2 2 d , 2 2 2 e , 2 2 2 f 挾着補強部  
2 2 6 把手部  
2 2 6 A ベース  
2 2 6 B ハンドル部  
2 3 0 底襀補強体

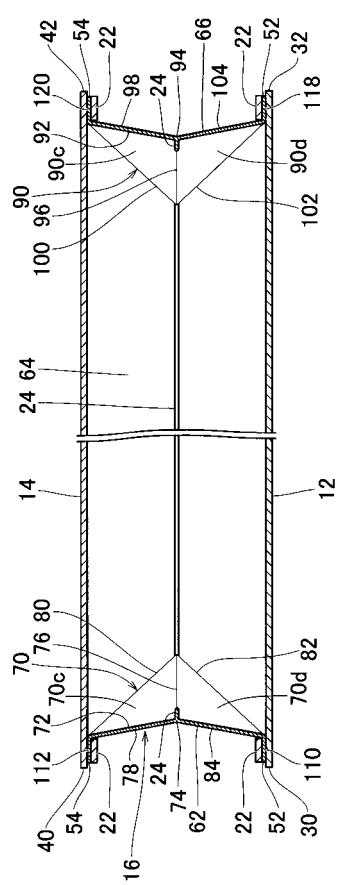
【図1】



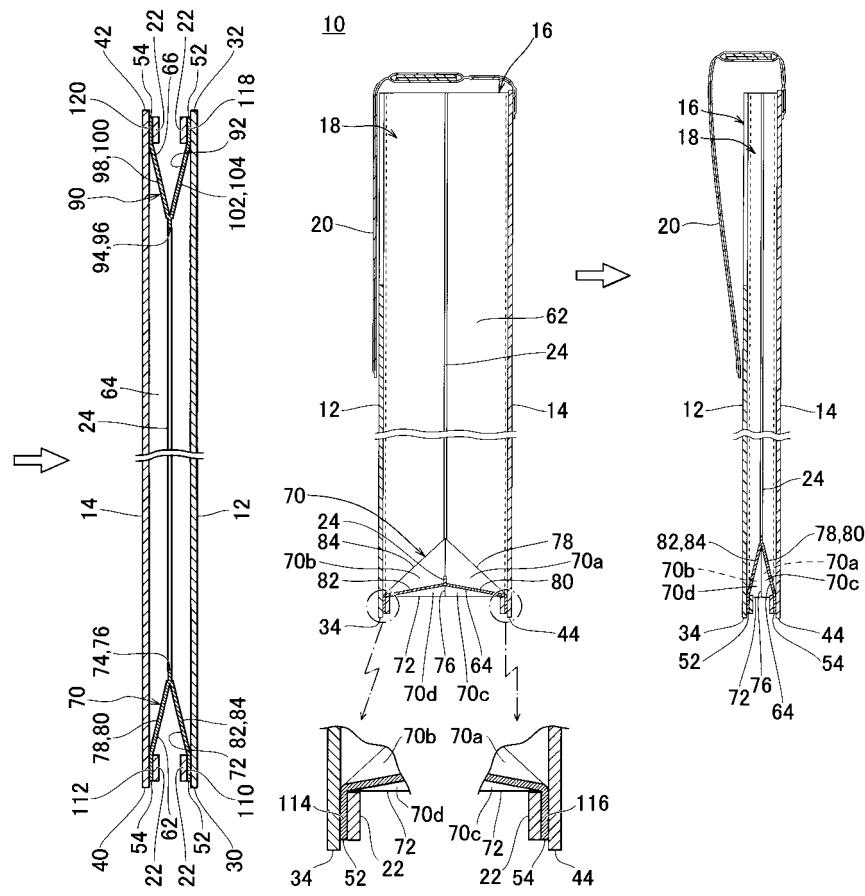
【図2】



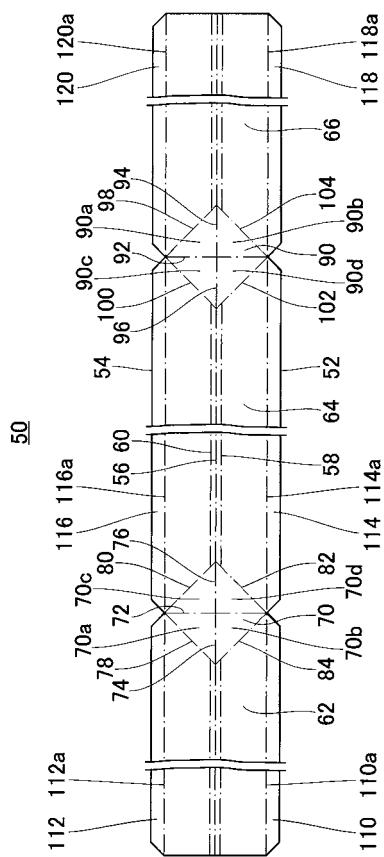
【図3】



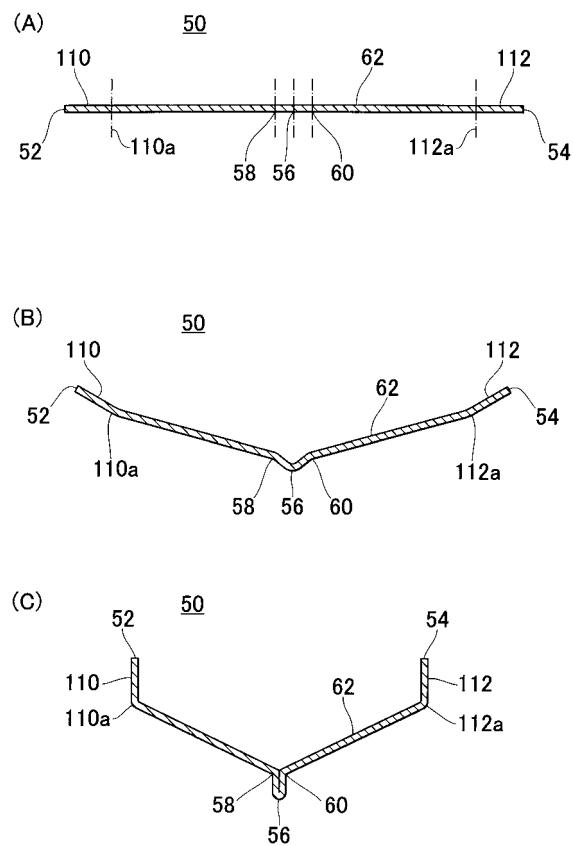
【図4】



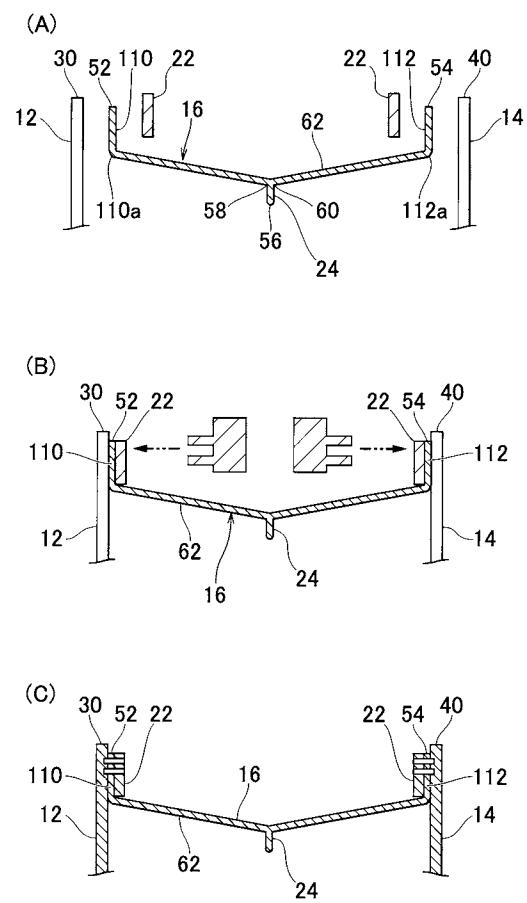
【図5】



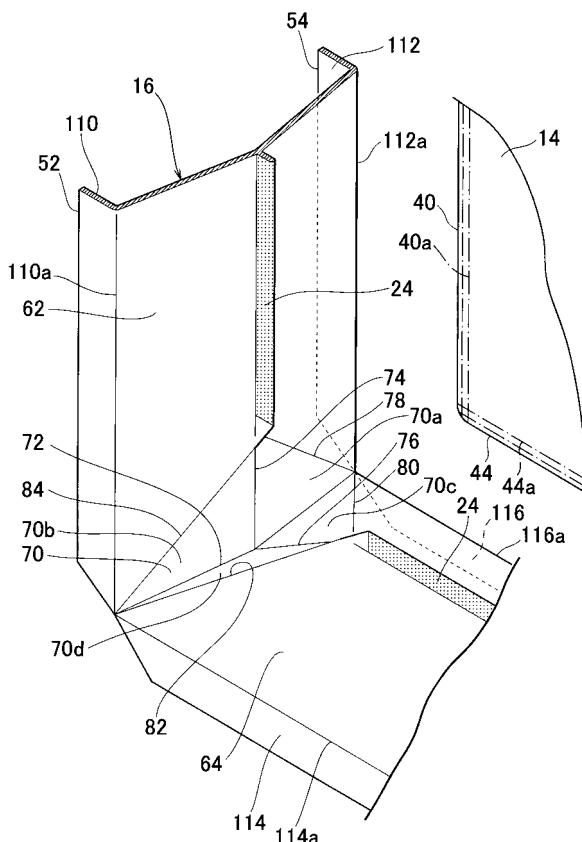
【図6】



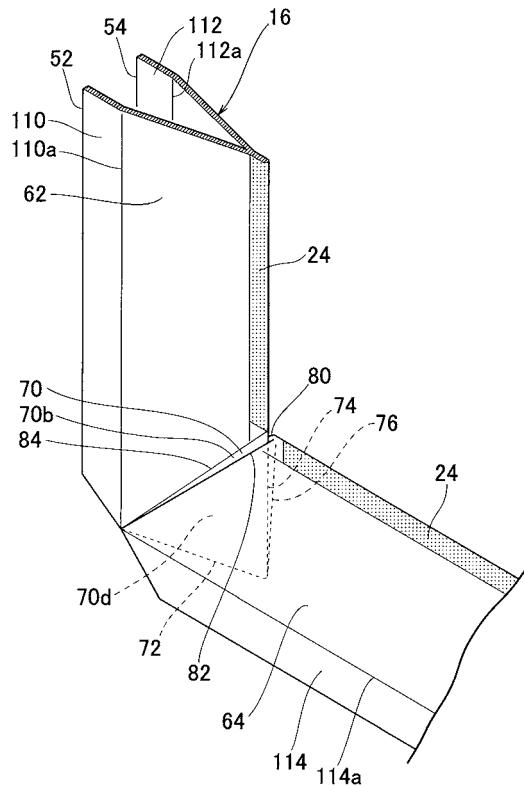
【図7】



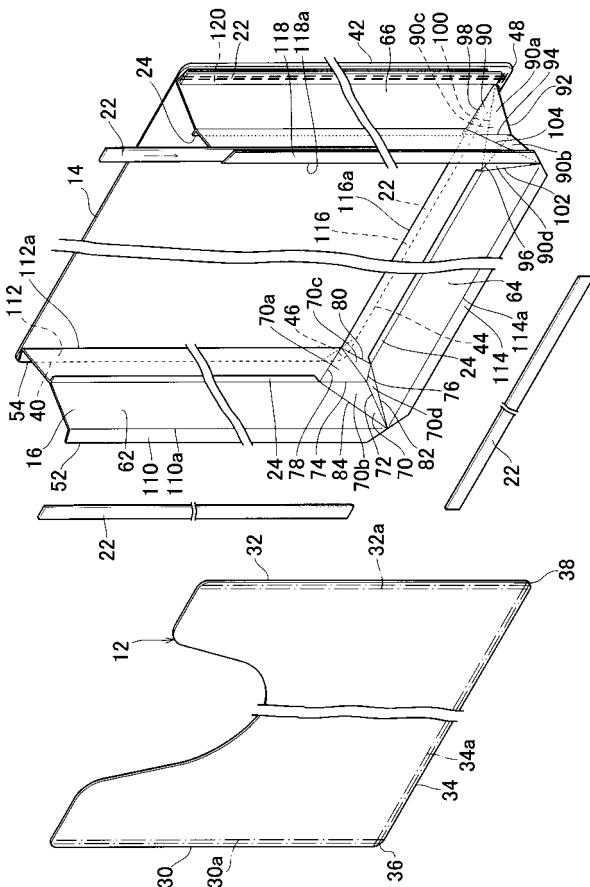
【図8】



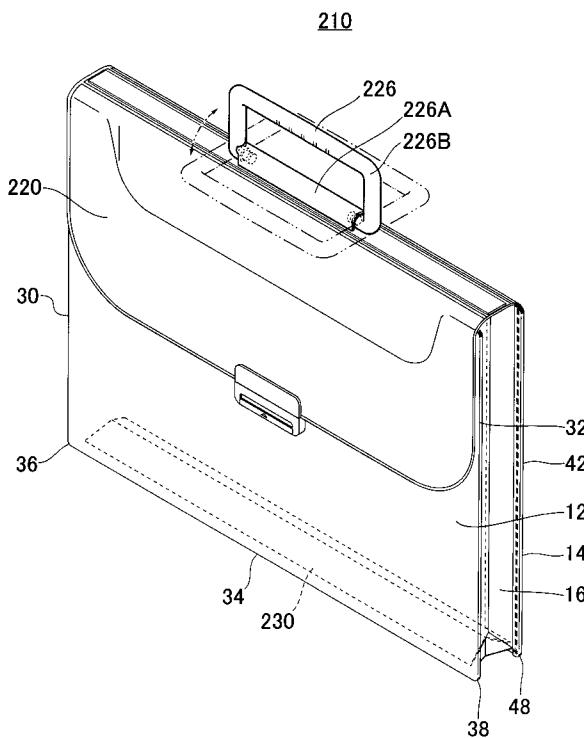
【図9】



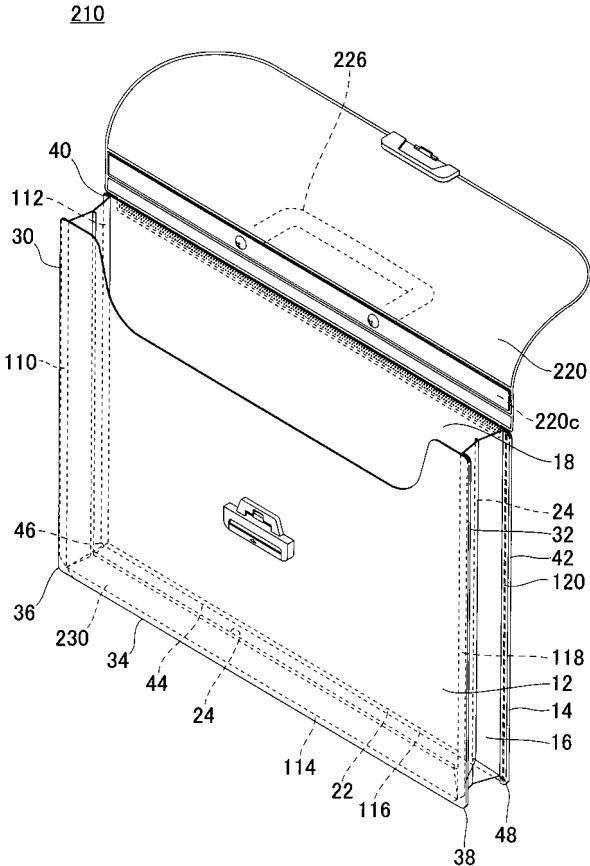
【図10】



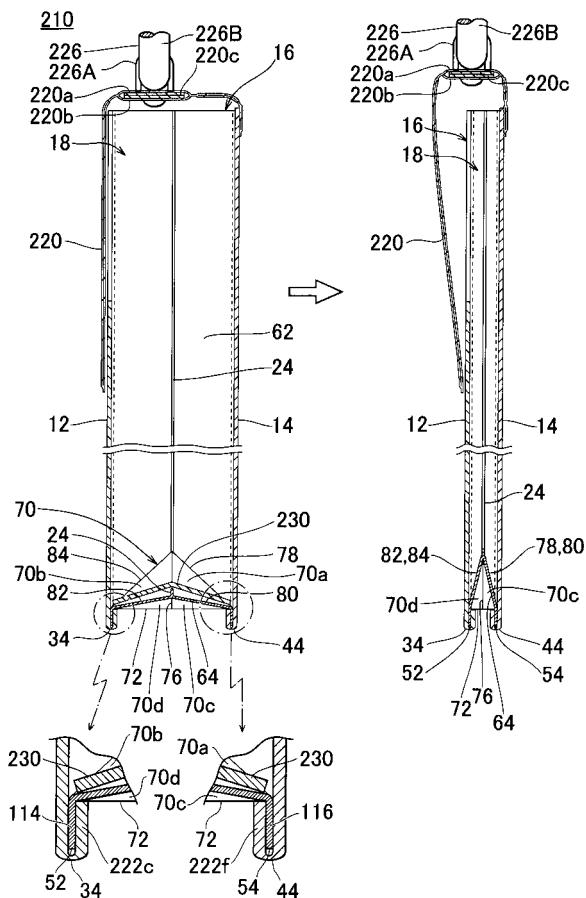
【図11】



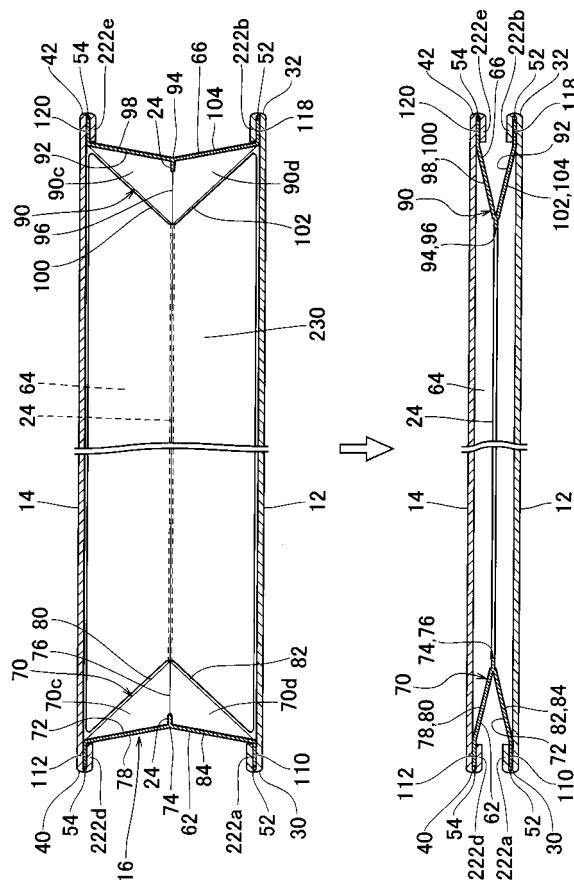
【図12】



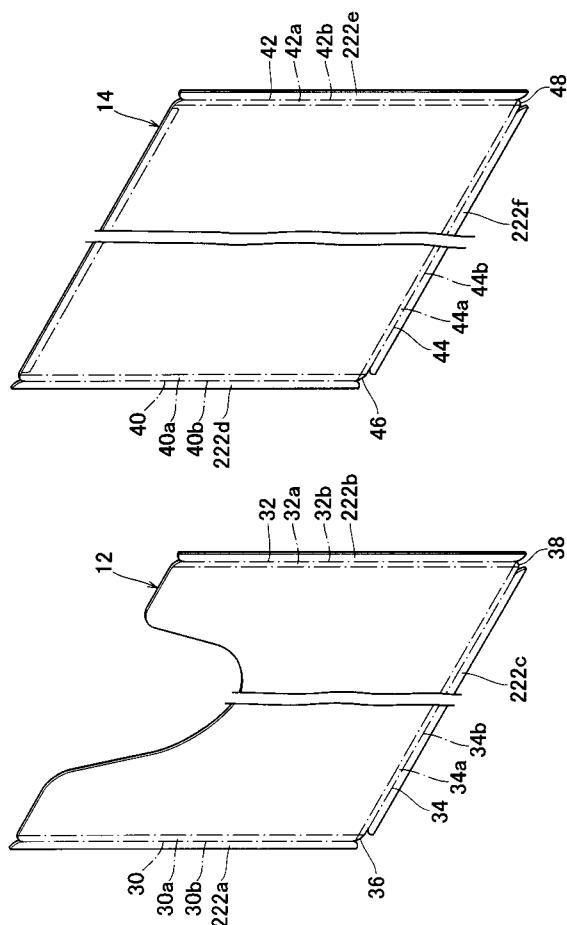
【図13】



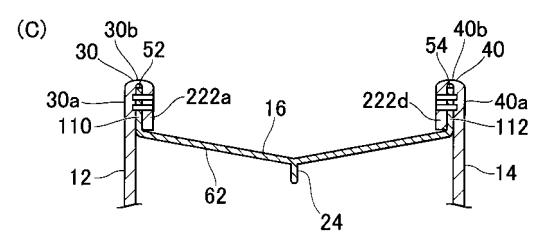
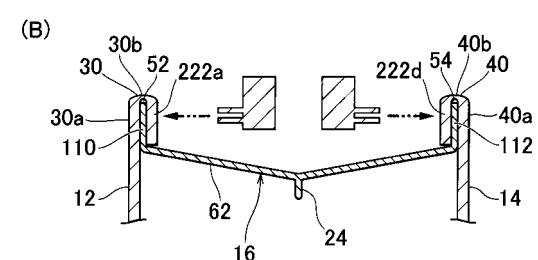
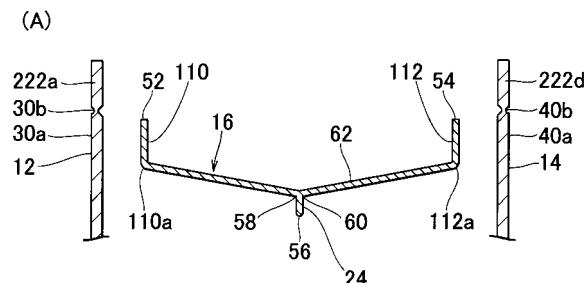
### 【図 1-4】



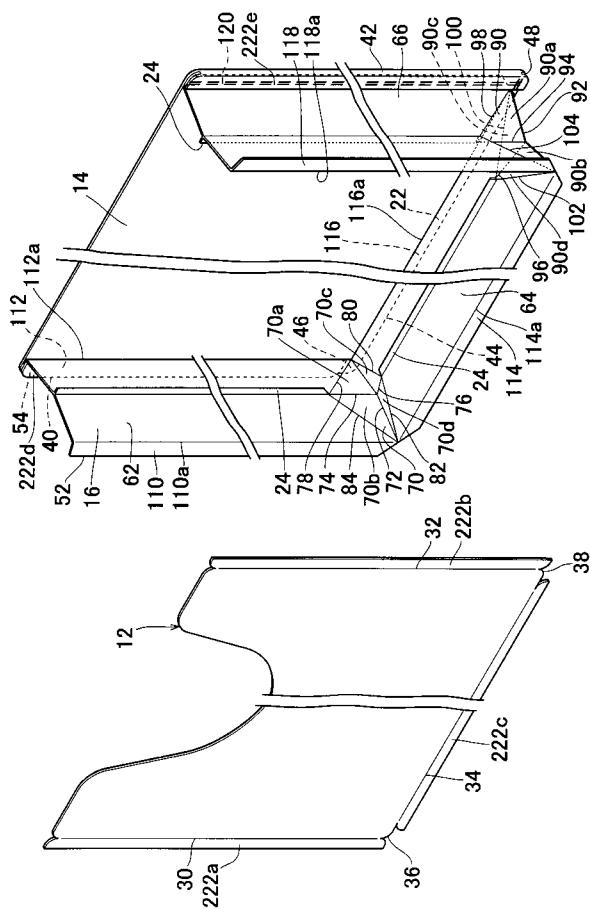
【図15】



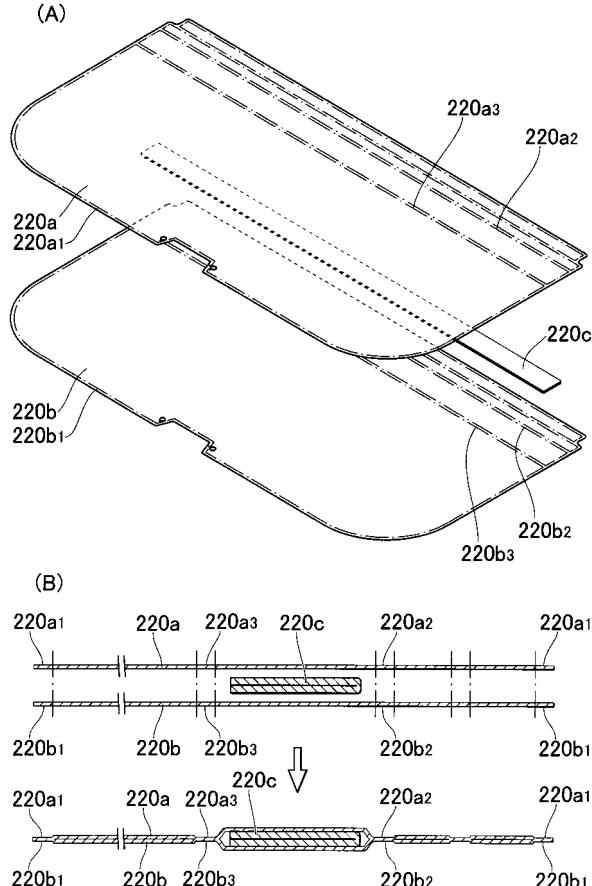
【図16】



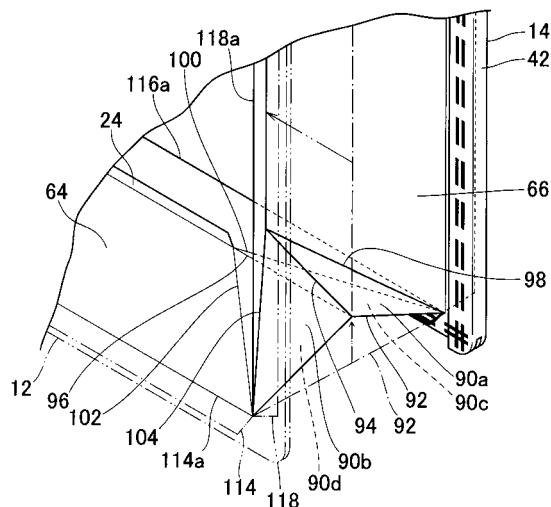
【図17】



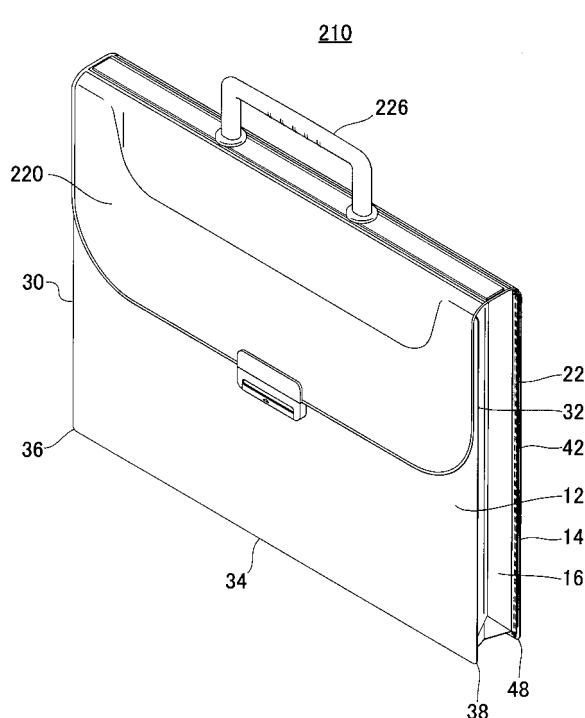
【図18】



【図19】



【図20】



---

フロントページの続き

(51)Int.Cl.

F I

B 6 5 D 30/20  
A 4 5 C 3/02

C  
T

審査官 戸田 耕太郎

(56)参考文献 登録実用新案第3052518(JP, U)

実公昭37-020179(JP, Y1)

実開昭61-074540(JP, U)

実開平03-075117(JP, U)

特開2000-025785(JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B 6 5 D 30 / 16

A 4 5 C 3 / 02

B 6 5 D 30 / 02

B 6 5 D 30 / 18

B 6 5 D 30 / 20